

第4回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会次第

平成30年11月20日（火）18時30分～

第二庁舎8階 801会議室

- 1 ワークショップ
- 2 次回の開催日について

本日のワークショップについて

1 本日の目的

「未来の小金井市の目指すべきまちのイメージ」をまとめる。

2 ワークショップの概要

(1) 前半（約30分）

ア テーマ

『30年後、小金井市が「住みよさランキング」で上位に入りました。

その理由は何でしょうか？』

イ 班構成

2班程度（出席状況による。）

ウ 内容

(ア) テーマに沿って各委員がアイデアを付箋に書き出す。

(イ) 各委員がその付箋を模造紙に貼り出していく。人のアイデアを聴いて、更に膨らませたアイデアを追加しても良い。沢山の数のアイデアを出すことが大切です。

（例：個性的な個人商店が沢山あって、ここに来ないと味わえない買い物が楽しめる。）

（例：IT化が進んでも、顔を合わせる交流やイベントを大切にしている。）

前半の最後は、似たアイデアをグルーピングし、「〇〇なまち」とネーミングするところまで行います。

(2) 後半（20分）

ア 目標

未来の小金井市の目指すべきまちのイメージについて、全体で5個程度（最大10個）の「〇〇なまち」というフレーズにまとめる。

イ 班構成

1班

ウ 内容

- (ア) 前半の意見を各班のリーダーが発表し、全員でアイデアの共有をする。気になるアイデアがあれば質問し合う。
- (イ) 各班で作った「〇〇なまち」のうち、全員で特に重要だと思うイメージを5個程度（最大10個）選ぶ。この段階で、新たなネーミングのアイデアが出れば、それを採用しても良い。

3 次回の協議

「〇〇なまち」を実現するために、これからどのようなことに力を入れていくべきか、その実現手段について、各委員から御意見を伺います。

30年後の未来

1 東京都

東京都都市整備局では2040年代の未来について次のように見込んでいます。
以下はその中の一部になります。

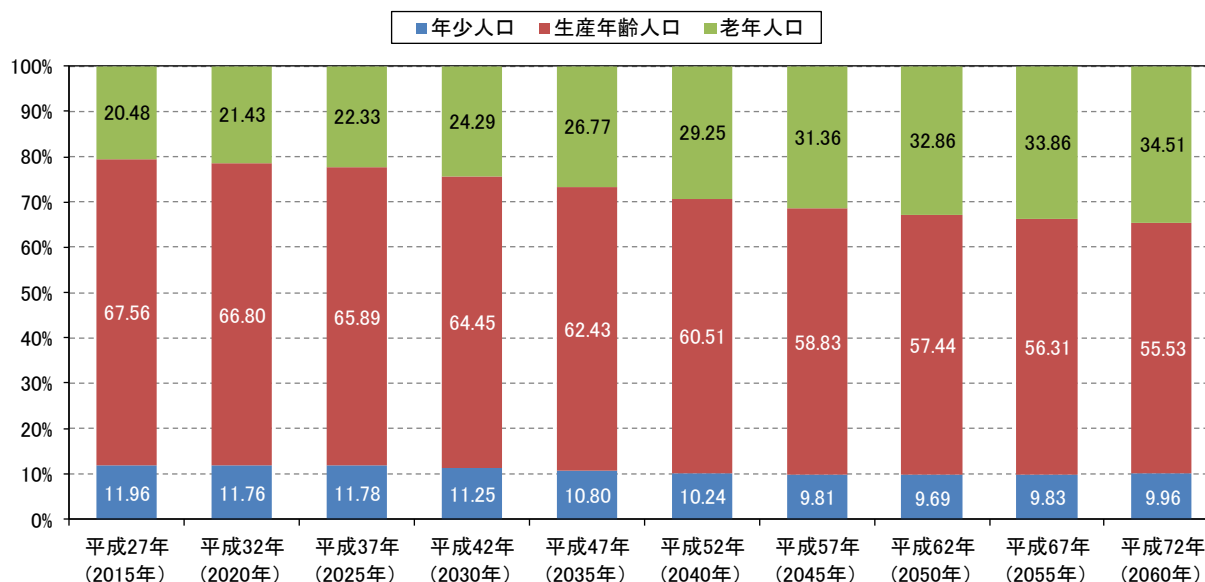
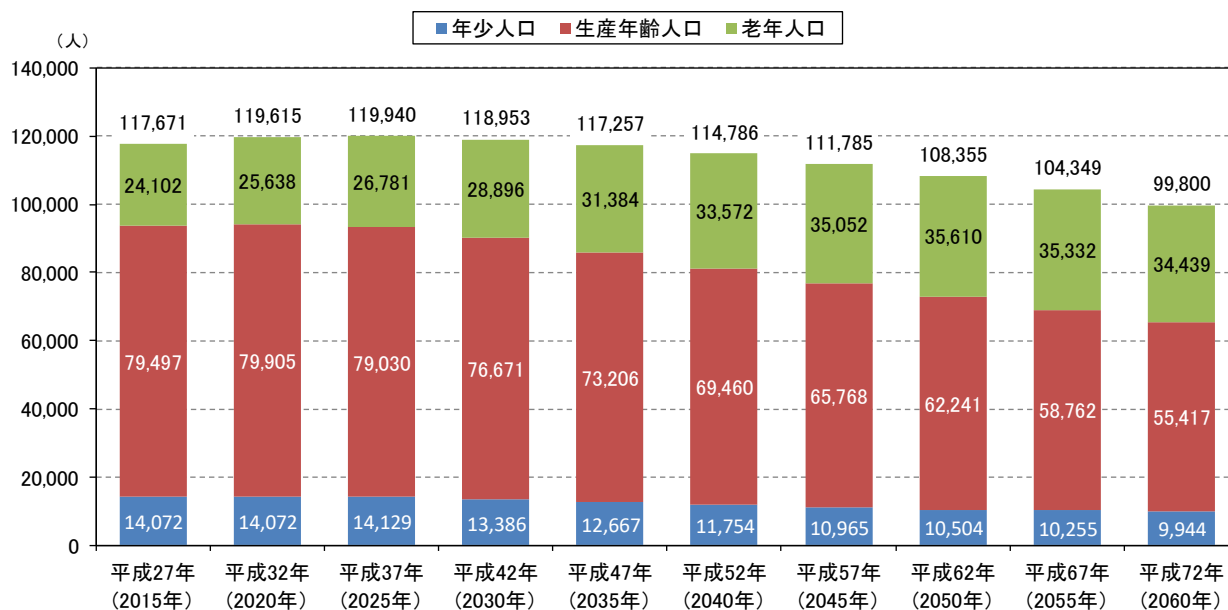
- (1) 約3人に1人が高齢者
- (2) 三環状道路(圏央道(首都圏中央連絡自動車道)、外環道(東京外かく環状道路)、中央環状線(首都高速中央環状線))は概成時期を迎え、東京圏を広域的に支える交通インフラが充実
- (3) リニア中央新幹線(東京ー大阪間)が開業するなど、国内外をつなぐ陸・海・空の交通インフラネットワークの拡充
- (4) 技術(自動運転技術、エネルギー・環境技術、人工知能(AI)技術、情報・通信技術)革新の見込み
- (5) 世界の人々の往来が活発化
- (6) 経済的な価値だけでは測れない「ゆとり」や「質」を重視する生活
- (7) モノを持たずにシェアやレンタルをする生活

2 小金井市

(1) 小金井市人口ビジョン及び小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月策定）では、次のように見込んでいます。

ア 人口

人口は減少に転じ、約3人に1人が高齢者になっています。



イ 今後の課題

課題1 若年層の転入維持・転出抑制

20歳代・30歳代での転入が多い一方、転出も多くなっています。若い世代の転入を維持しながら、同時に若い世代が住み続けたいと思う環境を整え、転出を抑制することが必要です。

課題2 子育て世代の住みやすさの向上

市民の多くが住みやすさを感じるなか、子どもがいることによって評価が下がることを踏まえ、子育て・子育て環境の充実を図ることが必要です。

課題3 暮らしを支える産業の振興

職住近接によるワークライフバランスの実現や、仕事と育児の両立による子育て世代の住みやすさの向上の観点から、小金井らしい地域産業の育成が課題です。

課題4 高齢化の進行への対応

高齢者が増え続けることを踏まえ、年齢を重ねても、誰もがいきがいを感じながら、安心して暮らすことができるよう高齢者の暮らしを支えることが課題です。

ウ 将来展望と目指すべき方向性

これら課題に対応し、将来的な人口減少・少子高齢化を抑制するため、若い世代や子育て世代の定住を図ることを中心に、生産年齢人口、さらには将来を担う年少人口の増加を目指します。

視点1 小金井市の魅力の発信と人々の交流から移住・定住への誘引

みどりが多く、閑静な住宅街という小金井市の強みを周知するとともに、魅力ある地域産業を育て、豊かな自然の保全・活用により、まちの魅力を高めます。そして、市民の暮らしやすさをさらに向上させるとともに、市外から人を引き寄せ、まちの魅力を実感してもらうことを通じて、小金井市に住んでみたい・働いてみたいと思う人を増やし、長期的な視野に立って移住・定住へとつなげます。

視点2 いきいきとした子育て・のびのびとした子育ての促進

子育て支援のみならず、子どもを育てながら働くことができる環境づくりを進めることで、安心して子育てができるまちを実現します。また創意工夫を生かした特色ある教育を行う学校教育や大学等の教育機関は本市の高い教育力を支えており、強みであることから、教育環境の充実を図ることで、のびのび育ち、いきいきと学べるまちとなり、子どもを産み育てたいと思われることを目指します。

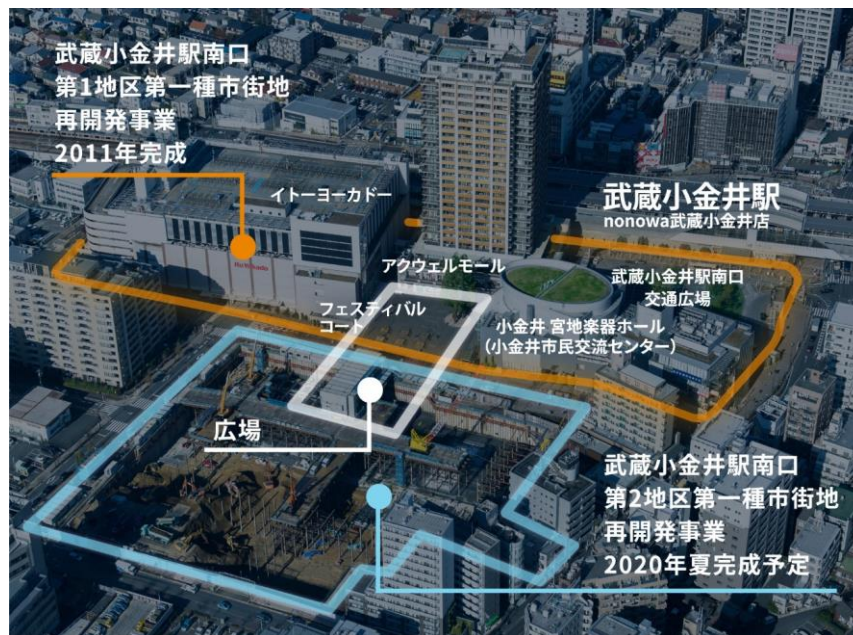
視点3 だれもが住み続けたいと思う安全・安心と自己充足の実現

子どもや子育て世代のみならず、高齢者も含めたあらゆる世代が、ソフト・ハードの両面で安全・安心な住環境のなかで、充実感を持ちながら暮らすことのできるまちを目指します。そのため、防犯・防災・健康・福祉はもとより、地域コミュニティの形成や生涯学習・市民協働等の観点から、若者と子育て世代・高齢者世代の交流を図ることなど、生きがいを感じることでできる機会提供を図ります。

(2) 完了している事業

現在、実施されている事業のほとんどが完了しています。

武蔵小金井駅南口市街地再開発事業



東小金井駅北口土地区画整理事業



新庁舎・(仮称) 新福祉社会館建設事業